

研究の内容と方法

1 研究の内容

(1) 新しい理科カリキュラムとは

次の2点を明らかにしたカリキュラムを『新しい理科カリキュラム』と呼ぶこととする。

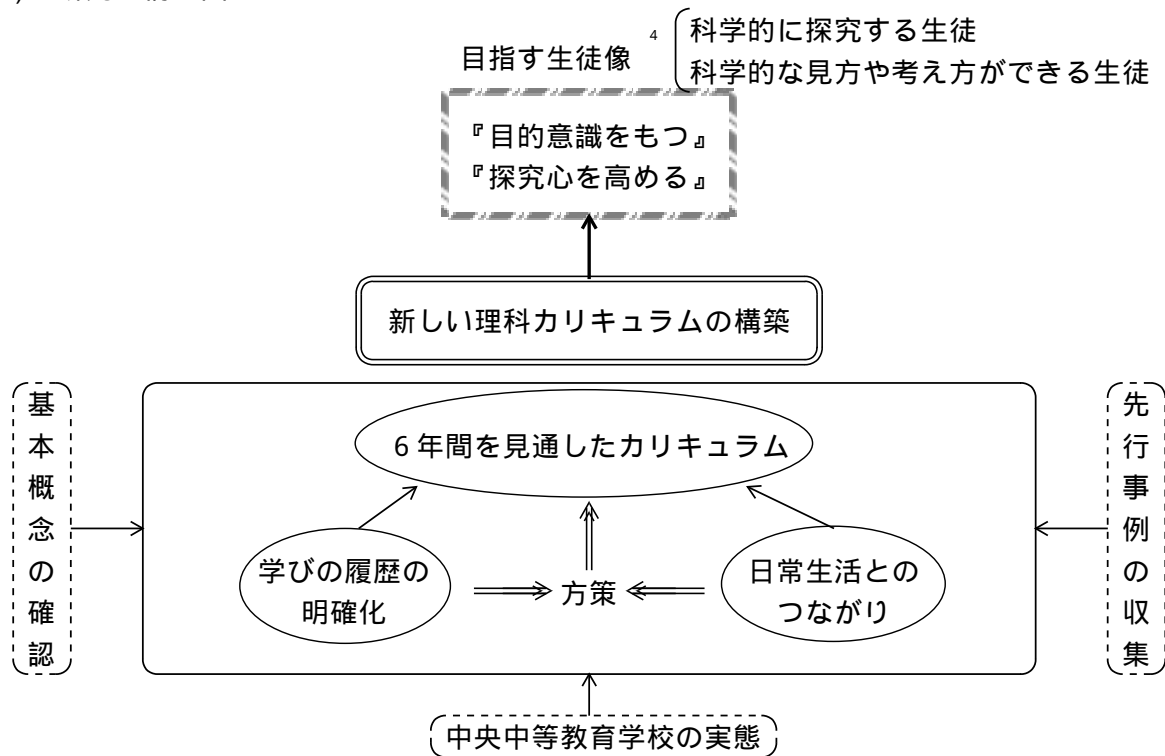
ア 学びの系統性

中高一貫教育では、現状の中等教育の前期中等教育（中学校）、後期中等教育（高等学校）という二つに分けられた枠組みから、受験により分断されない6年間の学びの系統性を生かしたカリキュラムを構築することができる。生徒の発達段階に応じた枠組みを探るとともに、それに応じた理科のカリキュラムを構築する。

イ 「探究を楽しむ」姿の育成

理科の学習では、知的好奇心や探究心をもって、自然に親しみ、目的意識をもって観察、実験を行うことが大切である。そのための指導の内容や指導を工夫し、各種報告などを基に、「探究を楽しむ」ことができる中高一貫教育の理科カリキュラムを構築する。

(2) 研究の構想図



2 研究の方法

(1) 情報収集

基本概念の確認

先行事例の収集（文献、先進校視察等）

中央中等教育学校の実態

(2) 計画

月	5	6	7	8	9	11	12	1
予定	先行事例の収集・吟味		課題の整理		具体策の検討		構築	